国語（現代の国語）　学習指導案

◎◎高等学校

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和〇年〇月〇日（〇） | 場所 | □□□□ |
| クラス | △△△　（△△人） | 授業者 | ◇◇◇◇ |
| 科目名 | 現代の国語 | 単元名 | 「伝わる文章」を書こう |
| 使用教材 | 「水の東西」（山崎　正和） | 使用教科書 | ▽▽▽▽▽ |
| 生徒観指導観教材観 | 入学後間もないため、落ち着いて授業に参加している。一方で、人間関係形成期のため授業内で反応する場合を、周囲の様子を観察しながら行っている。自信のある生徒も、自信のない生徒も自身の考えを述べにくい状況であるため、授業内で学んだ知識・技能を活用して「説明的な文章」と「評論文」の違いを「伝わる文章」というテーマで書く言語活動の中で交流をしながら学びを深めたい。今後、生徒が「評論文」を読む際の基礎にするとともに、評論文を読むことでさまざまな視点、思考があることに気付き、中学校の説明的な文章からの発展につなげたい。 |
| 単元の目標 | 1. 実社会において理解したり表現したりするための必要な語句の量を増すとともに、語句や

語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)エ1. 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要性などを考えて、文章の構

成や展開を工夫することができる。〔思考力，判断力，表現力〕B(1)イ1. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」
 |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①実社会において理解したり表現したりするための必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。　((1)エ) | ①読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要性などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。(B(1)イ) | ①レポートを書くことを通して、自分の考えが相手に的確に伝わるよう、説明の仕方や表現の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 |
| 単元の言語活動 | 本単元の教材で学んだ内容を基に、「説明的な文章」と「評論文（論説文）」の違いについて比較しながら、相手に「伝わる文章」を論述する。（関連：〔思考力，判断力，表現力〕B(1)イ） |
| 指導と評価の計画（全５時間） | 主たる学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
| １ | ・単元の目標確認・本文の構成理解 | 〔知識・技能〕① | 「記述の点検」授業プリント |
| ２ | ・第1、２段落の読解 | 〔知識・技能〕① | 「記述の分析」ノート |
| ３ | ・第３、４段落の読解 | 〔知識・技能〕① | 「記述の分析」ノート |
| ４ | ・教材のまとめ・レポート作成 | 〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」レポート |
| ５ | ・レポートの清書・単元の振り返り | 〔主体的に学習に取り組む態度〕①〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」レポート振り返りシート |

学習指導案(１時間目/全５時間)

本時の目標：ア．実社会において理解したり表現したりするための必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考・判断・表現】

言語活動：ペアワークで構成の確認をする

本時の展開：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 導入５分 | □中学校で学んだ文章を複数提示しジャンルについて確認する。 | ・例示される説明的な文章を確認し、ジャンルを理解する。 | ・隣同士で確認させる。 |
| 展開①１５分 | □「水の東西」のジャンルについて紹介する。□単元の目標を確認する。 | ・「評論文（論説文）」という語を紹介する。・「伝わりやすい文章」を書くことが単元の目標であること、授業の最後に「説明的な文章」と「評論文」の違いについてレポートを書くことを伝える。・ワークシートに「説明的な文章」と「評論文」の違いについて現在の考えを記入する。 | ・聞いたことがあるかを確認し、生徒の理解度を把握する。・箇条書きで思いつくまま書いてよいと助言する。 |
| 展開②２５分 | ◎本文の順番を整理する。□ペアで交流する。 | ・ワークシートを用い、ばらばらの文章の順番を考え記入する。・文章を読みながら、意味の分からない語や、読めない漢字のチェックを行う。・ペアでなぜその順番にしたかを交流し、文章の構成について理解を深める。 | 【目標アに対する評価規準と評価方法】規準：仲間の意見をディベートの流れに沿って自分の言葉でまとめることができている。方法：「記述の分析」（ワークシート、フローシート、机間指導）〔目標ア達成のための手立て〕・ワークシート内にあるディベートメモの枠に沿って、一言でもメモを取ることを促す。 |
| まとめ５分 | □次回の予告 | ・「相手に伝わる文章」を書くために、「水の東西」の読解を行うことを確認する。 | ・必要に応じて、読めない漢字や意味の分からない語の予習を行うよう指示する。 |